

習得できる技術

- ・エコー技術の習得と解剖学的なランドマークの確認
- ・腹腔内からの液体排出
- ・穿刺ポイントの把握

特 長

- ・エコー対応の組織パッドは交換が可能
- ・胃上部の表層部分、部分的な肝臓と脾臓、腹直筋、横行結腸を再現
- ・解剖学的なランドマークとして、臍、恥骨結合、腸骨棘を再現
- ・腹腔内の液体を 1L まで排出可能



腹腔穿刺トレーナーには、解剖学的構造を内蔵できるベース部、交換可能な組織 [441054]、組織を交換するときに使用する 7/16 インチのナットドライバーが含まれています。



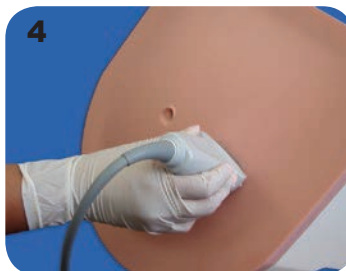
トレーナーのベース部には、模擬腸、肝臓、および脾臓が含まれます。

組織が取り付けたら、ベース部を水で満たすことができます。

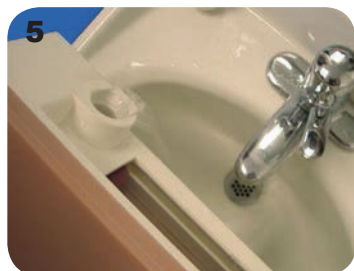


注水はふたを外して水栓から直接水を注ぐか、別の容器から注ぐかで、行います。

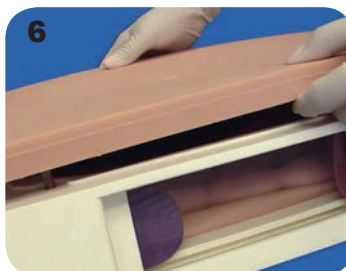
約 5.7L 注水できます。



水が加えられれば、トレーナーはエコー下での使用ができます。交換組織（腹壁）は繰り返し使用できるだけの耐久性があります。



組織を交換する場合は、まず水がベース部から排出されていることを確認してください。



交換組織の裏側のナットをすべて外し、ワッシャーを取り外します。

使用済みの交換組織を取り外し、新しい組織に交換してください。



ワッシャーを取り付けます。設置時は、ピンセットやその他の工具で保持すると容易です。



付属のナットドライバーを使用してナットを交換し、ナットを締めます。



交換し取り付けした組織が隙間なく張られるように、付属のナットドライバーで均等に締め付けてください。



水を注水すれば、使用可能です。